

エフともの成果と今後の展開について

2026年8月21日

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation



エフとものとは

福島浜通り地域等を中心とした**教育・科学・文化の振興プラットフォーム**（事務局：エフレイ）

- 以下の2つを大きな柱とし、参画機関を中心に様々な主体と広域に連携しながら活動。

次世代を担う子どもたちを育て、
未来をつくっていく取組みを応援

地域とともにコミュニティ・文化創成を
進めていく取組みを応援

【参画機関】

自治体、大学等教育機関、まちづくり団体、その他浜通り地域等で活動する機関、全39団体が参画
（2026年8月20日現在）

- **福島県、福島県教育委員会**
- **市町村**：飯舘村、いわき市、大熊町、葛尾村、川内村、川俣町、新地町、相馬市、田村市、浪江町、楢葉町、広野町、双葉町、南相馬市
- **大学等教育機関**：会津大学、いわき短期大学、大阪大学、東北大学グリーン未来創造機構、東日本国際大学、弘前大学、福島県立医科大学、福島工業高等専門学校、福島大学
- **まちづくり支援機関**：葛尾むらづくり公社、かわうちラボ、とみおかプラス、なみとも、ふたばプロジェクト、まちづくりなみえ
- **その他浜通り地域等で活動する機関**：社団医療法人養生会かしま病院、特定非営利活動法人インビジブル、HAMADOORI13、原町商工会議所、福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島相双復興推進機構、READY SOCIAL株式会社
- **福島国際研究教育機構（エフレイ）**

活動の成果(1)

✓ エフともカフェの開催：計6回 ✓ 小学校でのプログラミング教育の実施

【2025年】

- 4月26日 エフレイ2周年記念シンポジウムにてエフとも創設を発表
- 4月28日 エフとものホームページを公開
- 5月28日 第1回総会（浪江町：28機関56名）
- 10月21日 エフともカフェ開催（浪江町：15名）
- 10月29日エフともカフェ開催（双葉町：74名）
- 11月22日、29日：「お仕事図鑑をつくろう！－水素タウン編－」を開催
- 11月26日：エフともカフェ開催（浪江町：18名）

【2026年】

- 1月28日：エフともカフェ開催（富岡町：20名）
- 2月10日：エフともカフェ開催（大熊町：80名以上）
- 2月16、17、19日：プログラミング教育（なみえ創成小学校：59名）
- 3月11日：F-REIメッセージリレー2026の動画を公開（エフとも4団体も参画）
- 4月4日：エフともカフェ開催（浪江町：約21名）

【エフともカフェのアンケートの声】

- エフともの活動やエフレイについて理解できました。とても活発な話合いができてよかったです。
- 子どもたちが楽しめる空間を提供いただけるのは、とてもありがたいです。
- 各班の活動はわかりやすくよかったが、浜通りのプラットフォームをめざすF-REIは、今回の学生・大学と行政、そして町民との地域連携のトータルビジョンをどのように描いているのか提示していただきたいです。



活動の成果(2)

✓ エフとも参画機関及び有識者との意見交換会の実施、イベントへの参加

【他団体のイベント】

- 2025年9月11日～隔月：なみえ会議に参加（浪江町）
- 2025年10月29日～毎月：廃炉を知る会に参加（浪江町）
- 2025年12月9日：かしま病院（いとしプロジェクト）を訪問（いわき市）
- 2026年3月20日：HAMADOORI13の事業報告会に参加（いわき市）
- 2026年3月26日：浪江・富岡ロータリークラブ合同例会に参加（いわき市）
- 2026年5月20日：F-REIとクロストークに参加（浪江町）
- 2026年7月5日：未来への風プロジェクト in なみえ2026に参加（浪江町）
- 2026年7月24日：かがくとくらしのまつり かがくま！に参加（大熊町）



- その他、以下のような活動も実施
 - みんなのこーみんか「オープンデー」に参加（楢葉町）
 - とみおかワイナリーのボランティア活動に参加（富岡町）
 - 宮島達男氏の講演会（時の海－東北－）＆ワークショップに参加（富岡町）
 - かしま病院の「第3回いとしセミナー」に参加（いわき市）
 - 社会教育複合施設「ととと」公開作戦会議に参加（大熊町）
 - インビジブルの「月の下アートセンターOD」に参加（富岡町）
 - とみおかこども食堂に参加（富岡町）
 - おおくま学園祭（オオクマ・オデッセイ）に参加（大熊町）
 - ちいさな一歩プロジェクト「ふたば飲み」に参加（双葉町）
 - 時の海－東北－のボランティア活動に参加（富岡町）



活動の成果(3)

✓ 参画機関数：設立当初34団体 → 現在39団体（5団体増加）

【参画機関数】

- 2025年11月21日：「かしま病院（いとしプロジェクト）」が入会
- 2026年5月8日：「HAMADOORI13」と「原町商工会議所」が入会
- 2026年7月27日：「特定非営利活動法人インビジブル」と「LADY SOCIAL株式会社」が入会



inVisible



(ロゴ等は各団体のホームページより)

1. 広域連携に向けた活動範囲の拡大

- まだ十分に活動出来ていない地域でも活動を開始
- 浜通り全体に広く展開
- 浜通りと浜通り以外の地域の自治体・団体との連携も模索

2. 複数の主体との連携

- 特に浜通りの複数の自治体を巻き込んだ企画を展開（〇〇町×△△団体×□□町・・・ など）
- 教育・科学・文化に限らない様々な分野との連携を模索（医療、アート、スポーツ、商工業・・・など）
- 参画機関のネットワークをフル活用

3. エフとも参画機関とのコラボイベント及び地域の有識者との意見交換を定期的に行う

- 学生の活動と連動した企画を開催
- 復興知事業との連携
- オンライン上のコミュニケーションも活用



F-REI

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute
for Research, Education
and Innovation

ご清聴ありがとうございました！